

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010030

政策目標	2	めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	医療機器整備事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	更新機器数			#N/A		
事業目標	21機器以上		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容		
計 画 内 容	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 透析装置5台、水処理装置 除細動器 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 CT撮影装置、心電図計 分包機、超音波診断装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 一般撮影用医用画像システム 低周波治療器 ナースコール装置更新 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 回診用X線診断装置 X線TV装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 昇降浴槽 水圧マッサージ器 車いす 歩行者 自動体交エアマット		
	事業費(千円)	195,152	40,650	53,744	48,016	43,700	9,042	
計 画 事 業 費	財源内訳							
	国庫支出金	9,450	2,625	2,625		4,200		
	道支出金	0						
	地方債	185,500	38,000	51,000	48,000	39,500	9,000	
	その他	0						
実 績 事 業 費	事業費(千円)	156,696	27,416	44,550	39,370	45,360	0	
	財源内訳							
	国庫支出金	6,945	2,625	4,320				
	道支出金	1,312	1,312					
	地方債	138,700	23,400	38,200	39,100	38,000		
その他	9,660		2,030	270	7,360			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ●人工透析装置購入 透析装置5台、水処理シス テム全自動溶解装置等一式 ●輸液ポンプ 2台	(実施内容等) 医療機器購入 CT撮影装置、心電図計、 分包機、腹部エコー、整形用 エコー	(実施内容等) 医療機器購入 一般撮影用医用画像システム、 低周波治療器、ナースコール装置 X線撮影装置、シリンジポンプ 輸液ポンプ、AED	(実施内容等) 医療機器購入 回診用X線装置、X線TV装置、 CT用インジェクター、骨塩量測定装置、 リハビリ用牽引装置、 経鼻用内視鏡システム	(実施内容等)	
	国保調整交付金 病院事業債 過疎債	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-維持/現状維持	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	8機器以上	4機器以上	2機器以上	2機器以上	5機器以上	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		67%	83%	82%	104%	0%
		全体達成率		14%	37%	57%	80%	80%
	備考欄							

事業名	医療機器整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化等に伴う更新整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	患者のニーズに即した医療機器等の整備により、安定かつ適切な医療の提供を目指す	①	医療機器の整備
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定かつ適切な医療体制が確保され、町民の健康増進が図られる		
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医療機器の購入	入札等による購入	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安全かつ安定かつ適切な診療体制を維持していくためには、医療機器の計画的な更新は必要不可欠である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	各種医療機器等の更新・整備により、患者に対する医療支援体制及びサービスの向上が図られた
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	購入費等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 人員削減	
課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全般に受益が及ぶものであり、公平性については支障ない
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療機器更新・購入により、安全で安定かつ適切な医療サービスの支援を図ることができた		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民が安心する医療サービス支援及び機器の経年劣化等に対応していくため、今後も年次計画等により適切な整備が必要である		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止